

～ 須磨パティオがお客様にとって居心地の良い空間となる(主に運営面)ための社会共創活動 ～

活動の様子



高齢者(消費者)インタビューの風景



学生が子育て世代の皆さんのインタビューの意見を集約



KJ法で整理をしてインタビュー結果を見る風景



広場でのアンケート調査の風景

企画・活動概要

ショッピングセンター「須磨パティオ」のサービス面の改善・拡充につながる調査(インタビュー、アンケート)を実施した。

(1)調査方法及び調査対象

①アンケート調査

若年層、子育て世代、中高齢者まで全世代を対象

②インタビュー調査

1)子育て世代、2)高齢者(消費者)、3)高齢者サポーター(高齢者)

(2)調査の進め方

①アンケート調査

1)アンケート設計、2)アンケート実施、3)集計・分析、4)報告

②インタビュー調査

1)インタビュー調査項目検討(設計)、2)インタビュー実施、3)インタビューとりまとめ、4)報告



お買物サポーター(高齢者)の方々に対するインタビューの風景

経緯・背景・目的

株式会社こうべ未来都市機構では、名谷エリアが「ゆとりある郊外型居住エリア」のモデルとなるための駅周辺のさらなる魅力化・利便性向上に向けて、ショッピングセンター「須磨パティオ」を令和6年秋にリニューアルする。リニューアルに当たり、施設等ハードのリニューアル関連のアンケート調査および分析は既に数回実施していたが、「お買物サポートサービス」等サービス面の改善・拡充につながる調査は実施していなかった。この度、教員と須磨パティオの部長以下担当者で打ち合わせを行った結果、これらサービス面の改善・拡充につながる調査(ヒアリング、アンケート)を行うこととなった。



報告会に参加して、須磨パティオ様からの感想に聞き入るゼミ生

取り組む課題

ショッピングセンター「須磨パティオ」を令和6年秋にリニューアルする。神戸市を通じて紹介があった「須磨パティオ」を運営する株式会社こうべ未来都市機構と教員が打ち合わせをする中で、リニューアルに当たり、施設等ハードのリニューアル関連のアンケート調査および分析は既に数回実施していたが、「お買物サポートサービス」等サービス面の改善・拡充につながる調査は実施していなかった。このタイミングで消費者のソフト面でのニーズを把握することの必要性を共通認識として持つことができた。

本学(学生)の役割

学生の視点で調査票の設計、調査、分析をすることで、須磨パティオとしても新たな気づきがあるのではないかと考えた。

教員と学生の役割分担

①アンケート調査

1)アンケート設計(教員及び学生)、

2)アンケート実施(学生が主)、

3)集計・分析(学生が主)、

4)報告(学生が主)

②インタビュー調査

1)インタビュー調査項目検討(設計)(教員及び学生)

2)インタビュー実施(司会は教員、メモ作成は学生が主)

3)インタビューとりまとめ(学生が主)

4)報告(学生が主)



現場の声から須磨パティオ様に提案をする学生たち

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

(学生のお礼状から)このたび、社会共創活動に参加する機会をいただき、心から感謝申し上げます。アンケート調査やインタビュー調査は初めての経験でしたが、大変貴重な体験となりました。特に、調査や意見をまとめる難しさを実感しました。大学生という立場のおかげで多くの方に協力いただきましたが、それでも回答を得るのは容易ではありませんでした。また、インタビューの意見をまとめる際も苦労しました。この経験は学校生活では得られないものであり、将来に活かせると確信しています。本当にありがとうございました。



報告会の風景。壇上からゼミ生全員がプレゼンしました

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
マーケティング学科
教授
長坂泰之(ナガサカ ヤスユキ)
＜専門・担当科目等＞
流通政策、商業まちづくり、
中小企業論

<関係者・企業等>

株式会社こうべ未来都市機構
代表取締役専務
浜本 泰幸(ハマモト ヤスユキ)

長坂ゼミは地域(まち)、企業(みせ)の経営を実践的に学んでいます。私たちは自らでは気づかない魅力がたくさんあります。同様に「まち」「みせ」にも魅力化していない魅力がたくさんあります。これらの魅力をどう高めていけばよいかを、実際に現地に飛び出して、方向性を考え、実行する実践的なゼミです。2年後期から始まるゼミではカフェ経営に挑戦します。利益を出せるビジネスプランを計画し、目標達成に向けて活動します。このカフェ経営を通じて経営の楽しさや難しさを体験します。3年次以降も続く現場でのゼミ活用から得られることは無限大です。長坂ゼミは実践を通して理論を学ぶ唯一無二のゼミです。

株式会社こうべ未来都市機構は、「神戸のまちの均衡のとれた持続的発展のために、神戸市と連携して、商業環境、ビジネス空間の提供及び交通インフラの運営等を通じて、便利で潤いのあるまちづくりを進め、活力と魅力ある地域社会に貢献し続ける企業を目指す」組織。事業の1つとして、今回の社会共創活動の現場であるショッピングセンター「須磨パティオ」を運営している。